



～2018年 春号～

平成30年4月1日 発行

～発行～

ひまわり号を走らせる全国連絡会
〒300-0873 茨城県土浦市荒川沖1-40
☎029-843-0270 ㊚029-843-1108
✉ fwka2312@mb.infoweb.ne.jp

発行責任者：渡邊 和博



ひまわり号全国交流会&総会2018 in茨城 無事終える！！



↑ 2日目、最後の集合写真 (enjoyいばらき実行委員会提供)

「春一番」が吹いた日本列島、春への足音がどんどん聴こえてくる時期となりましたがいかがお過ごしでしょうか。

3月3日・4日で第38回の全国総会と交流会が、茨城県水戸市にある「茨城県総合福祉会館」をメイン会場に、9実行委員会56名の参加で無事に閉幕しました。

今回の交流会は「enjoyいばらき実行委員会」のお膝元ともあり、実行委員会の全面バックアップで開催されました。

前日まで低気圧に悩まされ、出発までドキドキされた実行委員会もあったかと思いますが、この2日間はお天気に恵まれ、気温も20度くらいまで上がり上着を脱ぎたくなるような気持ちいい天気の中も交流会となりました。

今号では交流会の報告をメインに編集します。最後までご覧くださいね！

★第38回ひまわり号を走らせる全国連絡会総会

開会セレモニーの後、全国連絡会の総会からスタートしました。

議長は議場からは立候補はなく、運営委員会より推薦を受けた藤井慎也運営委員と岡田翔揮運営委員が議長となり、議事進行をされました。

総会の内容は別冊の議事録をご参照いただきたいのですが、決定した事項のまとめをここでさせていただきます。

なお、議案書についておりました「2018年度予算案」ですが、数字のミスタイプがあり、差し替えとなりました。今回参加できなかった実行委員会のみなさんには別紙でつけておりますのでこちらをご覧ください。



総会の様子

★決定事項★

①総会と交流会の開催について（提起）

各実行委員会の財政状況が厳しくなる中、今後の開催方法を検討する必要があると思います。開催の仕方について例えば、

①現状通り、総会と交流会を同時に開催する。

②総会は毎年開催するも、交流会は2年に1度の開催とする。

が上がると思います。もちろん、それ以外の意見もあるかと思しますので、来年の全国総会まで各実行委員会で議論をしていただきたいと思います。

本来であれば1年に1回の開催で、各実行委員会の1年間の活動を報告し、お互いが交流しあい、一つでも多く学んだことを持って帰ってもらいたいという趣旨があると思います。

しかし、実行委員会の減少と各実行委員会の財政等、運営委員会の経費等を考えるとすこし難しい気がします。

ぜひこの一年間で議論をしていただき来年の総会で議論したいと思います。

②運営委員会の年間計画を作成しました。（別紙参照）

活動が曖昧だった全国連絡会の年間行動計画を作成し、上記内容で実施していきたいと思ます。別紙に記載しておりますのでご確認ください。

また、通信を年4回発行することで計画を練っておりますので各実行委員会からの情報をお寄せください。

③インターネット・SNS。全国連絡会メールについて

今後も継続して行っていますが、HPについてはSNSなどを利用した方法も併せて検討してまいります。

例えばFacebook・LINE@などでの情報提供や参加者との意見交流など、公開へのルール作りから検討していきたいと思ます。

また、情報をタイムリーに行うべく、全国連絡会専用のメールアドレスを作成し、運営委員長と副運営委員長で管理し、相互の情報の提供・共有を行っていきたくて考えております。

今までは大塚相談役ご本人のメールアドレスが全国連絡会のメールアドレスですが、転送をしなればならず、タイムリーに情報収集や共有ができていないことがあり、各実行委員会が連絡しやすい環境を構築すべくこのアドレスを作り、4月1日より稼働しました。

メールアドレスは、『hashire.himawarigo@gmail.com』

ひまわり号の運行報告や相談事項など、どんな内容でも構いませんのでぜひご活用ください。

なお、今までのメールアドレス（大塚相談役のメール）、及び手紙やFAXによるやり取りも継続していきますので、ご安心いただけたらと思ます。



湘南実行委員会・茨城県西実行委員会の退会届を承認

長く実行委員会として活躍した「ひまわり号を走らせる湘南実行委員会」と、「ひまわり号を走らせる茨城県西実行委員会」の退会届を運営委員会が受理をし、今総会で退会が承認されました。

湘南実行委員会は2017年のひまわり号活動をもって解散となりました。

利用者の減少・実行委員会の高齢化が要因と思われます。

また、茨城県西実行委員会も昨年5月のひまわり号運行を終えた後、実行委員会を解散されました。

県西実行委員会は参加者の減少もありますが、使用する電車が近郊型電車から特急電車の車両に変更せざるを得なく、特急料金も別途かかることから運行が難しくなってきたことを過去の交流会で訴えておりました。

長きにわたり、ひまわり号運行に奮闘された2実行委員会に敬意を表したいと思います。
ありがとうございました。



1994年の湘南ひまわり号



2014年の茨城県西実行委員会のバッジ

(画像はgoogleより引用)

<2018年度ひまわり号を走らせる全国連絡会 運営委員体制>

役職	氏名	実行委員会	担当すること
運営委員長	渡邊 和博	宮城	全体統括 担当：能代・宮城
副運営委員長	内田 慎吾	札幌	全体統括（サブ）・運行集約・通信担当 担当：札幌・千歳・函館
事務局長	岡田 和枝	長野	会計 担当：山梨・わいど沼津・長野 新潟・長岡
運営委員	藤井 慎也	enjoyいばらき	会計フォロー 担当：利根沼田・enjoyいばらき 東京みなみ・立川・伊豆するが
	岡田 翔揮	西条	運営委員 担当：城陽・大阪・神戸・姫路・西条 新居浜
会計監査	藤井 聡子	enjoyいばらき	
	☆清水 英員	東京みなみ	
相談役	大塚 一壽	全国連絡会	運営に関する相談
	眞鍋 敏朗	西条	//
	金子 錦也	東京みなみ	// ・HP担当

※) 氏名の前の☆印は新任、及び昇任者

<退任された委員> 日向由紀子会計監査員(東京みなみ)

一日目
M 全体会

旅行業法とひまわり号運行にまつわる報告

副運営委員長 内田慎吾のまとめ

総会の後、内田副運営委員長より、旅行業法とひまわり号の運行について報告しました。

昨年、千歳ひまわり号を走らせる会の運行が旅行業法に抵触するのでは？という疑いがかけられたことから、旅行業法を確認をし、ひまわり号の運行と関連する事柄がないかをまとめました。

旅行業の定義「報酬を得て一定の行為を事業とする」に当てはめると、参加費に利益分を上乗せをして金額を収受したり、観光地からの手数料をいただくための施設利用などを行ってれば抵触しますが、しっかりと会計処理をしてい



スライドを使いわかり易いように報告しました。

ば、旅行業法に抵触することはないことがわかりました。

また、観光庁から発出された通達より、後援を得たり、自治体が関与しているイベントの場合は旅行業法に抵触することはありません。

もし不安な場合は旅行業者さんに依頼して手配や受付などをしていただくと、さらに安心です。

最後に、もしこのような事案に遭遇してしまった場合や法律に関しての問題に遭遇した場合は遠慮なく全国連絡会へ連絡してほしいと参加者に訴えておりました。

1日目
M 夕食交流

若手の力に包み込まれた懇親会

～水戸の梅大使OBも参加し、話に華が咲いた会に～

@水戸プラザホテル 四川飯店

交流会の一つの楽しみ、懇親会は会場を移し、水戸プラザホテルの中国料理、四川飯店さんで行いました。会場の関係で2つに分かれてしまいましたが、お酒とおいしい料理をアテに各地の話や久々の再会話と様々な話をしておりました。

2016年度水戸の梅大使を歴任された秋葉智世さんをゲストに、日本三名園のひとつ、偕楽園と、そこで開催中の水戸梅まつりにまつわる話をされました。

水戸観光協会からかわいい「水戸ちゃん」が描かれたクリアファイルのお土産を受け取りご満悦の皆様。

最後にビンゴ大会を実施し、各実行委員会からお持ちいただいたお土産を景品に皆さんでビンゴを楽しみました。

最初はなかなかビンゴが出ませんでした。ビンゴになった方からお選びいただき、お気に入りの土産をGETしておりました。



↑みなさん楽しめましたか？

2日目
フォトコンテスト

写真の千カラで実行委員会の自慢を・・・！ 第一回ひまわり号フォトコンテスト

2日目は総合福祉会館1階のギャラリーにて「第一回ひまわり号フォトコンテスト」と題して各実行委員会の自慢写真をお持ちいただき、その写真のエピソード等を発表しあいました。

会場はロビーに面している「ギャラリー」で、今回初めて一般の方にもひまわり号を知っていただけのようなコンセプトで行ったため、立ち寄られた一般の方もいたようです。

各実行委員会も光り輝くシーンの写真が多く、各実行委員会の自慢写真をたくさん拝見しました。どれもが素敵な写真だらけで、時に笑顔も見られておりました。

また、質問タイムでは、運行の秘訣や金額に関する事など、様々な内容の意見交換ができ、充実した内容になったかと思えます。

皆さんはどの写真が良かったですか？

※審査結果の発表と受賞作品は別冊にまとめております。



2日目
閉会式

POWERを感じた交流会のフィナーレ

フォトコンテストの表彰と振り返りを行って

最後に閉会集会を行いました。

最初にフォトコンテストの投票結果を発表。

どれも金賞のような写真が多く審査に悩まれた中、各実行委員会の順位を発表。

上位3実行委員会に賞状と副賞をお渡しし、1位の発表は「日本アカデミー賞」を彷彿するような封筒にハサミを入れるパフォーマンスも観られ、ドキドキの時間となりました。

そのあとの2日間の振り返りでは、「POWERを感じる交流会」と題し、内田副運営委員長が2日間のまとめを報告しました。

enjoyいばらき実行委員会の「若手のPOWER」、仲間の全員による「仲間のPOWER」、フォトコンテストで自慢写真を皆さんに共感させた「写真のPOWER」を非常に感じられた有意義な交流会であったこと、受け入れ実行委員会として奮闘していただいたenjoyいばらき実行委員会へ感謝の言葉を述べて2日間の締めを行いました。

また来年も元気でお会いできることを楽しみにしております。

※今回、2日間の振り返り文章を後のページに掲載しました。ご覧ください。



↑ 2日間を振り返る内田副運営委員長

QUIZ Enjoyいばらき！ 結果発表！

懇親会の席上で配られたQUIZ！

茨城の方言や有名なものなどを乗せたクイズ企画。その結果発表と表彰式が行われました。

非常に難しく、苦戦しましたが成績順に表彰され、鈴木元子さん（伊豆するが実行委員会）、来栖恵子さん（立川実行委員会）、日向野朗さん（立川実行委員会）が表彰されました。おめでとうございます！！



おめでとうございます！

交流会あとのお楽しみ ～水戸梅まつり見学～

交流会の後はenjoyいばらき実行委員会の協力のもと、希望者で偕楽園へ行き、開催中の水戸梅まつりの見学を行いました。

20度まで気温が上がった中、4部咲きの梅を見たり、美味しい露店の料理を食べながら春を満喫したようです。

まだまだ春が遠い地もありますが、各々が春を感じることが出来たアフターとなりました。

きれいな梅、堪能できましたか？



↑ 本当に綺麗な梅でした。（内田慎吾撮影）

さて、来年の交流会は～(^.^) 次回予

全体会の最後に来年の全国交流会の開催地が発表となり、来年は



での開催が発表となりました。

2008年、定山溪で行われた交流会から約10年ぶりに札幌市での開催となります。

今回も地元札幌実行委員会の全面協力を頂き交流会と総会を行うこととなりました。

札幌の3月は春へ向けて一歩ずつ歩みだしている時期で、まだ寒さも残っているかと思いますが来年は是非北の大地、札幌で皆様をお待ちしております！



来年は北の大地でお待ちしております！



～2日間の振り返り～

POWERを感じる交流会

副運営委員長 内田慎吾



全国からお集りの皆さま、2日間大変お疲れさまでした。3月最初の日より、冬から春に駆け足で向かう真っ最中の全国を大きな低気圧が、「春の嵐」を連れてきたため、出発前から交通機関の心配をされた方も多いのではないのでしょうか。

この低気圧が通ったためか、皆様が水戸に集う期間はお天気に恵まれ、素敵な青空の中で、交流会をすることができました。

今回の交流会は北は北海道札幌、南は愛媛県西条まで9の実行委員会、56名の参加でした。参加年齢も学生さんから74歳までと幅広い年齢層の方が集ったのも特徴かと思います。

今年水戸での開催にあたり、おひざ元のenjoyいばらき実行委員会のみなさんにお世話になりました。

介護の専門学校の教師が、授業の一環で「ひまわり号」の楽しいところや感動ストーリーを学生さんに講義し、それに共感した学生さんが、実行委員会の「ピンクのポロシャツ」を着ることを目指して一皮、二皮成長し、学校を卒業して介護の現場へ進んでも、ひまわり号の楽しさを忘れられず、どんなに仕事がつらくても先生や仲間を頼ってひまわり号に参加することで日ごろの疲れをとる・・・



まさに私たちが目指したいスタイルの実行委員会ではないかと思います。



そんな若手POWERに後押しされる勢いの交流会でありましたが、各実行委員会のメンバーの高齢化や財政面上の問題で、湘南と茨城県西の2実行委員会の退会届が今総会で受理・承認され、21の実行委員会で2018年度がスタートしました。

私は十数年前の松山での交流会から、全国交流会に参加しはじめました。

今でも頭の中に残っている言葉で、「参加するみんなは、たとえ小さな公園でもどこでもいから『ひまわり号の仲間』と行きたいんだよね。そんな思いが消えるまでやらなきゃいけないと思っているんだよね。」とおっしゃっていたことを覚えています。

どんなに実行委員会の内情がつらくても、ひまわり号を走らせたい想いや、仲間や友情の絆をどんどん頼ってこれからも走らせていただけたら・・・と思っています



昨年の運行の際、「千歳ひまわり号を走らせる会」に「旅行業法」という法律の壁が突如として襲ってきました。

「報酬を得て、一定の行為を事業とし行う」ことが旅行業のポイントですが、従来通りのやり方でやっても問題はないことがわかりました。

ただ、営利性や事業性を出さないで行うことや広告の表示方法には十分注意する必要があるかと思えます。

そして旅行のプロフェッショナルである、旅行会社とタイアップすることもいい方法だとわかりました。

もし何かあれば全国連絡会へ報告してほしいと最後に結んだ報告は、自信をもって旅の催行を貫いてほしいという想いが伝わる報告となりました。

夜の交流会では、enjoyいばらき実行委員会の「若手POWER」はじける内容となりました。

特別ゲストには2016年度の「水戸の梅大使」であった秋葉智世さんをお招きし、絶賛開催中の「水戸梅まつり」や梅の花のことについて素敵なお話を頂きました。

「偕楽園」には100品種3000本の梅が時期をずらして咲き乱れるとのことでした。

この後、梅まつりに足を運ぶ予定ですが、昨日のお話を思い出しながら梅の花を見ると、昨日の感動が思い出されるかもしれませんね。



そして本日はフォトコンテストと題して、各実行委員会の自慢写真をお持ちいただき、皆さんが審査委員となり気に入った写真を投票しました。

「写真のチカラ」というのは、プリントしたり、スライドで投影することにより、人間の視覚や感情を動かす大きな力を持っています。

各実行委員会の写真はまさに、楽しいひまわり号の一日を切り取ったようなとても素晴らしい一枚が多くて、審査する私たちもどれがいいのかなと悩んだのではないでしょ

うか。

今回賞をつけて表彰をしましたが、私の中では今回ご提出いただいた写真すべてが金賞を受賞してもおかしくない写真だったと思います。

ぜひみなさん、ひまわり号を楽しんでくれている人がいる以上、たくさんの記録を残しながら素敵な旅を続けてください。

つらいときは今まで撮り続けた記録を振り返ってみてください。

そこにはきっと、何かしらのゴールが見えてくるのではないかと思います。



最後に、今回の交流会全体を通して、「POWER」を強く感じられた交流会だったと思います。

Enjoyいばらき実行委員会の「若手のPOWER」
 全国の仲間による「仲間のPOWER」
 写真による「視覚のPOWER」

・・・など、本当におおくのPOWERを感じられた交流会だったと思います。

皆さんはどんなPOWERを感じましたか？

今回頂いたPOWERを各実行委員会へ持ち帰って、素敵なひまわり号を走らせていただけたらと思ひまして、2日

間の結びの言葉とさせていただきます。

今回水戸の交流会に全国からお集りになった皆さん、ご協力を頂いたみなさんに感謝申し上げます。

そして何よりenjoyいばらき実行委員会の皆川実行委員長、受け入れ準備委員長の鈴木さんはじめ、皆さんには本当にお世話になりました。

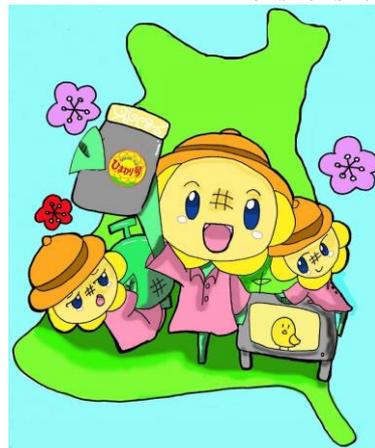
皆さんから大きな拍手で感謝の気持ちを伝えられたと思います。本当にありがとうございました。



<交流会のイラストについて>

今回の交流会のメインパンフレットや通信にも使用したこのイラスト。これはenjoyいばらき実行委員会の鈴木真琴さんが描いたイラストです。

茨城県の県の形にかわいい「ひまわり」が3体並んでいます。それぞれ持っているものが茨城県で有名なもので、中央のひまわりが、水戸黄門（徳川光圀公）が持っていた印籠（ひまわり号のロゴ）で、右側のテレビは、先日まで放送されていたNHKの朝の連続テレビ小説「ひよっこ」のロケ地として有名になったこと、そして左側の子はメロンを持っていますが、メロン生産日本一といわれていることから持っています。



そして両端には県の木となっている「梅」の花があしらっているイラスト。かわいいですね。ちなみに私は大好きなイラストです(笑)

<編集後記>



後ろに注目！！

今回は茨城での全国総会&交流会の様子をお送りしました。参加されたみなさんにとってどんな交流会と感じましたか？

やはり交流会は年に1回、同じひまわり号仲間が集い、情報交換や悩み事の相談など様々な交流をする場と私は思います。

また来年も皆さんが楽しめ、夢や希望を語れる交流会にしたいな。さて、千歳から茨城空港までスカイマークの飛行機を使いましたが、なんと「宇宙戦艦ヤマト」の特別塗装機でした。

ハットカバーにはヤマトのイラスト、一部の機内アナウンスが、森雪さんの声で・・・！！もう、大興奮で茨城入りしました。

・・・はい、最後はヒコーキネタで締める内田でした(^_^A

< 昨年の運行報告を神戸実行委員会から頂きました！！ >

関西
神戸発

快晴のもと、170名を乗せ倉敷へ！
神戸実行委員会in倉敷 運行報告

2017年11月12日（日）、雨の心配をすることなく快晴の中、一年ぶりのひまわり号が、170名の参加者を乗せて、神戸・明石から倉敷へと発車しました。

懐かしい顔、新しい参加者と様々でしたが集まったみなさんは元気一杯！

今回は列車の時間が長いので、現地時間を増やしたいとの思いから車内で昼食をとることにしました。参加者も朝早くの集合のため、ほとんどの方がお弁当を配布とともに昼食タイム。目的地の倉敷駅到着後は、2階の中央改札ではなく1階に臨時改札を設けていただき、そこを利用したので移動がスムーズに行えました。



楽しそうな様子、拝見しました！



今回は11班。倉敷駅に着くと、現地のボランティアさんと合流。美観地区へ向かいました。いよいよ班ごとに散策開始！ 倉敷の街並みは趣があり、あたたかく私たちを迎えてくれました。

大原美術館は多くの方が鑑賞されました。現地のお店は、間口が狭かったり段差があったりして車いすでは入りにくいところもありました。また街中も石畳が多く、バリアフリーで難しい点もありました。しかし、あちらこちらから参加者の楽しそうな笑い声が聞こえてきて、ご当地アイス

美観地区、いかがでしたか？ や団子を食べている班など、散策も様々。何よりお土産の数。どれにしようか悩んでいても笑顔がいっぱいでした。実行委員が作ったクイズはちょっと難問だったようで、あちこちで実行委員をつかまえては答えを聞いている班も見られました。帰りはお土産をたくさん持って倉敷駅に集合。集合場所は2階の改札口。エレベーターの場所が少しわかりにくいところにあっただのですが、駅の係員が誘導してくれ、時間通りみなさん集まり、ホームへ移動。現地のボランティアさんに見送られながら倉敷駅を後にしました。

今回の運行にあたり、倉敷市社会福祉協議会を通じて紹介していただいたたくさんの現地ボランティアの方に同行していただき、それぞれの班でサポートや観光のお手伝いとしてお力を借りました。

毎年多くの方の支えがあり、31回目も無事、ひまわり号を走らせることができました。車両の都合で仮設トイレを各車両に設置したとはいえ、現地到着後のトイレの案内不足などで参加者の皆さんには、ご迷惑をおかけしました。それでも、みなさんの協力により、散策を楽しむことができましたことに本当に感謝いたします。年々、実行委員としてのスタッフ不足により、安全確保が困難になってきたように思えます。ひまわり号の運動をもっと多くの方に知っていただくという課題もありますが、また笑顔でみなさんとお会いできるよう、これからも走らせることを考えていきたいと思っております。

